

(様式第2号)

地域振興推進費事業自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	4	課題区分	C
横断的な課題	「佐久の産業は粒ぞろい」未来につなげる産業づくり				
地域重点政策	「佐久の産業は粒ぞろい」未来につなげる産業づくり				
実施機関	佐久地域振興局			担当課	所属 佐久農業農村支援センター
事業名	佐久産農畜産物地消地産流通体制確立事業			電話	0267-63-3167
				E-mail	saku-nogyo@pref.nagano.lg.jp
事業の概要	目的 (目指す姿)	佐久地域の宿泊施設における佐久地域産農畜産物の利用拡大をはかるため、関係機関と連携し、地消地産の地域内流通体制を確立し、意識的に佐久地域産農畜産物を使用する宿泊施設の増加を目指す。			
	現状と課題	・令和5年度に佐久地域の宿泊施設にアンケートしたところ、佐久地域産農畜産物を意識的に利用している宿泊施設が少ないこと、流通業者を通じての仕入れだけでなく、農産物直売所を利用して購入している宿泊施設も多いことが分かった。 【アンケート結果】 佐久地域産農畜産物を利用している:86% 流通業者に佐久地域産農畜産物の仕入れを意識的に依頼している:45% 農産物直売所を利用している:55% ・また、佐久地域産農畜産物を利用していない理由として、「佐久地域産農畜産物にどのようなものがあるかを知らない」という回答も寄せられており、宿泊施設に対する佐久地域産農畜産物の周知不足も課題である。			
概要	内容 (変更後の内容)	アンケート結果から、主に流通業者を通じた仕入れと直売所からの仕入れが行われていることが分かったため、それぞれに対して取組を行った。 ○流通業者等による体制確立 ①佐久地域の農畜産物を知る機会の提供 レタス、キャベツ等の代表的な佐久地域産農産物が出荷され、流通の起点となる地方卸売市場及び、紅振大根やミニキャロット等特色のある農産物が出荷される農産物直売所において農産物見学会を開催した。併せて、実需者である宿泊施設が望む流通体制等の把握や新たな流通体制の検討を目的として、流通業者・直売所関係者を参集者とする懇談会を開催した。 ・地方卸売市場見学会 日 時:令和6年9月24日(火)午前6時から 場所:R&Cながの青果佐久支社 参集範囲:佐久地域の宿泊施設関係者 ・農産物直売所見学会及び懇談会 日 時:令和6年10月31日(木)午前8時から 場所:浅間のかおり、R&Cながの青果佐久支社 参集範囲:佐久地域の宿泊施設関係者、流通業者(卸売市場、仲卸等)、直売所関係者 ②流通業者等における流通体制の検討 ①の懇談会での検討に加え、既存の流通体制内での佐久地域産農畜産物の取扱い量の増加を目的に、流通業者関係者との打合せを実施した。 日 時:令和6年10月31日(木)午前9時30分から 場所:R&Cながの青果佐久支社 参集者:中通業者(卸売市場、仲卸) ○農産物直売所による流通体制確立 ③直売所の販売農産物リスト作成 農産物直売所から宿泊施設等へ旬な農産物情報等の提供が行えるよう、販売農産物リストのひな型を作成し、中核的農産物直売所へ提供した。(提供時期:令和7年1月) ④直売所出荷者と宿泊施設のマッチング 農産物直売所を利用した流通を希望する宿泊施設と、直売所間でマッチングを行い、佐久地域産品の流通を促した。(少人数で5回開催、開催時期:令和7年1月~3月) ⑤直売所研修会の開催 直売所における課題解決を通じて佐久地域産農産物の流通を活性化することを目的として、直売所(佐久管内39施設)を対象とした研修会を開催した。研修会では直売所の課題について検討し、認識の共有と課題に対する振り返りを容易にすることを目的として、グラフィックレコードでの内容の見える化を行った。併せて、直売所間での検討を円滑に進めるため、事前に職員向けのファシリテーション研修も実施した。 職員研修 日時:令和7年2月5日(水) 場所:佐久合同庁舎 講師:内山二郎氏、グラフィックデザイナー 江村康子氏 直売所研修 日時:令和7年2月18日(火) 場所:佐久合同庁舎 講師:内山二郎氏、グラフィックデザイナー 江村康子氏			
		事業期間	令和6年9月		~

(単位:円)					
事業費等	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	①佐久地域の農畜産物を知る機会の提供	農産物見学会の開催	0		
	②流通業者等における流通体制の検討	宿泊施設における流通体制懇談会の実施 懇談会の内容を踏まえ、取り扱い品目の増加に向けて打合せを実施。	27,700		
	③直売所の販売リスト作成	販売リストのひな型の作成依頼	198,000		
	④直売所出荷者と宿泊施設のマッチング	直売所出荷者と宿泊施設の情報交換の場の提供	0		
	⑤直売所研修会	研修会の開催	149,100		
合 計			374,800		
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	農産物見学会への参加者		30人	7人	<input type="radio"/> 達成 <input checked="" type="radio"/> 一部達成 <input type="radio"/> 未達成
	直売所販売リストの作成、ひな型の配付・利用		5施設	5施設	
	直売所出荷者と宿泊施設における農畜産物供給マッチング		3件	1件	
	直売所研修会参加施設数		15施設	5施設	
事業実績・成果	<p>①宿泊施設関係者を対象とした地方卸売市場及び、農産物直売所の見学会を開催した。参加者からは継続した開催を希望する声もあったが、佐久地域産農産物の流通量が増える時期と宿泊施設の繁忙期が重なってしまうため、開催時期と可否について検討が必要である。</p> <p>②宿泊施設、地方卸売市場、仲卸業者、農産物直売所運営者で懇談会を開催した。流通関係者からは既存ルートを利用した流通の検討や地域産農産物の情報を広く発信することについて意見が出された。宿泊施設では地域産農産物の利用に興味はあるものの、仕入れロットや保管場所等の課題があることが分かった。</p> <p>③農産物直売所販売農産物リストのひな型作成を業者に依頼し作成した。農産物直売所交流会で情報提供するとともに、ひな型の配付を行った。本リストは宿泊施設を含めた直売所利用者に対する情報提供に利用するほか、直売所出荷者に対する作付誘導にも利用できる。</p> <p>今後、直売所においてどのように利用されているか確認を行い、優良事例を他の直売所に周知し活用を進める必要がある。</p> <p>④多角的な農産物販売を模索している直売所と地域産農産物の利用に興味のある宿泊施設間でのマッチングを行い、秋から取引が開始した。この事例は開始前に保管場所や配送方法等を両方で検討したことでスムーズな取組が可能であった。次シーズンも引き続き取引を行う予定のため、モデル的な取組として状況確認を行う。</p> <p>また、その他の施設のマッチング、情報提供も進めていく必要がある。</p> <p>⑤直売所交流会の開催前に職員ファシリテーター研修会を実施したところ、センター職員だけでなく地域振興局の他課職員も含めて、34人の出席があった。</p> <p>直売所交流会は直売所だけでなく、市町村や女性農業委員等からも出席があり、直売所の誇りや課題、解決に向けたアイデア等について活発な意見交換が行われ、直売所同士のつながりを深めることができた。また、グラフィックレコードを利用することで、参加した直売所だけでなく欠席した直売所での情報提供も行うことができた。</p>				
	今後の方向性	佐久地域産農産物の魅力発信を継続するとともに、既存ルートを利用した流通について検討を進める。			